

# 2003年度決算 説明資料

2004年5月14日

川崎汽船株式会社

# A. 2003年度決算概要

# A-1. 2003年度決算概要

(単位:億円)

		2002年度	2003年度	前期比 増減額	前期比 増減率	公表数値
売上高	連結	6,327	<b>7,247</b>	920	14.5%	7,070
	単体	4,998	<b>5,850</b>	852	17.0%	5,700
営業損益	連結	293	<b>705</b>	412	140.6%	650
	単体	198	<b>551</b>	353	178.3%	500
経常損益	連結	237	<b>626</b>	389	164.1%	560
	単体	164	<b>497</b>	333	203.0%	450
当期損益	連結	104	<b>332</b>	228	219.2%	290
	単体	65	<b>245</b>	180	276.9%	220
配当	単体	5円	<b>10円</b>	+5円	-%	10円
為替レート	平均	¥ 122.29	<b>¥ 113.97</b>	¥ 8.32高	+6.8%	¥ 113.33
バンカー価格	平均	\$ 161.60	<b>\$ 170.00</b>	\$ 8.40高	+5.2%	\$ 170.12

当社燃料費実績:677億円(+69億円)、消費トン数354万トン(+34万トン)

# A-2.連結セグメント情報

(単位:億円)

2004年3月期	海運業	運輸付帯	その他	連結
売上高	6,221	899	127	7,247
営業利益	613	80	12	705

2003年3月期	海運業	運輸付帯	その他	連結
売上高	5,302	888	137	6,327
営業利益	224	48	21	293

売上高増減	+919	+11	10	+920
営業利益増減	+389	+32	9	+412

## A-3. 経営環境

---

### (マクロ経済環境)

- 米国：個人消費拡大、設備投資増加 景気急速回復
- 欧州：景気持ち直し、日本：輸出堅調、緩やかな回復傾向
- アジア：SARSへの影響は軽微、中国は高成長継続

### (当社の事業環境)

- 燃料油価格の高値推移
- 9月後半からの急激な円高進行
- コンテナ船各航路荷動き堅調
- コンテナ船欧州・北米・大西洋運賃率修復
- 不定期船・タンカー市況活況に推移
- 自動車船豪州向け・三国間輸送台数堅調

## A-4. 部門別業績動向 (コンテナ船)

### コンテナ船: 当初見込みを上回る業績達成

(積高: 02F通期207万TEU 03F通期228万TEU+10%増)

- 中国出し貨物を中心に好調に荷動き推移
- 北米・欧州・アジア航路とも当初見込積高達成
- 欧州・北米向け・大西洋航路運賃率修復
- アジア/地中海航路でサービス増強(4月下旬)
- 燃料油価格高値推移

## A-5.部門別業績動向(不定期専用船)

**不定期専用船:当初見込みを上回る業績達成**

- **不定期船:運賃市況活況に推移**

**全船型で営業規模大幅増**

**(稼動延<sup>ト</sup>116百万<sup>ト</sup> 138百万<sup>ト</sup>+19%)**

- **自動車船:北米・欧州向け輸送台数減少**

**豪州・中近東向け・三国間輸送堅調推移**

**効率配船による運航コスト削減**

**(積高162万台 173万台 +7%)**

## A-6. 部門別業績動向 (エネルギー-資源輸送)

### エネルギー-資源輸送: 当初見込み通り

- 液化ガス運搬船: 各プロジェクト共順調に進捗  
(稼動延トン552万トン横ばい)
- 電力炭: 新造船投入効果もあり輸送量大幅増  
加。一部で逆鞘配船あり。  
(稼動延トン1228万トン 1447万トン+18%増)
- 油槽船: タンカー市況安定推移  
(稼動延トン2324万トン 2220万トン 4.5%減)



## A-7.部門別業績動向(連結子会社)

- 内航・フェリー部門: 効率配船・輸送量増加により業績安定推移
- 運輸付帯サービス: 貨物扱い増に支えられ業績安定推移

## A-8. 当期末連結決算ファクター別増減要因分析

(経常利益：公表560億円、前期237億円 実績626億円)		
損益変動要因	対公表比	対前期比
• 為替変動	- 億円	100億円
• バンカー変動	- 億円	19億円
• 市況変動	+54億円	+ 353億円
• 営業規模拡大	+ 5億円	+ 55億円
• 合理化・コスト削減等	+7億円	+ 100億円
• 合計	+ 66億円	+389億円

# B. 2004年度業績見込

# B-1. 2004年度業績見込

(単位:億円)

		第1Q 見込	2004F 上期見込	<b>2004F 通期見込</b>	2003年度 通期実績	通期 増減額	通期 増減率
売上高	連結	1,800	3,700	<b>7,600</b>	7,247	+353	+4.9%
	単体	1,450	3,000	<b>6,000</b>	5,850	+150	+2.6%
営業利益	連結	170	380	<b>760</b>	705	+55	+7.8%
	単体	140	295	<b>570</b>	551	+19	+3.4%
経常利益	連結	165	370	<b>740</b>	626	+114	+18.2%
	単体	135	290	<b>560</b>	497	+63	+12.7%
当期純利益	連結	100	230	<b>460</b>	332	+128	+38.6%
	単体	85	180	<b>340</b>	245	+95	+38.8%
配当	単体	-	5円	<b>10円</b>	10円	-円	-
為替レート	平均	¥105	¥105	<b>¥108</b>	¥113.97	¥5.97高	5.2%高
バンカー価格	平均	\$170	\$170	<b>\$170</b>	\$170.00	-	-

前提:下期為替110円、バンカー価格\$170

# B-2. 連結セグメント予想

(単位: 億円)

2005年3月期	海運業	運輸付帯	その他	連結
売上高	6,450	1,020	130	7,600
営業利益	660	90	10	760

2004年3月期	海運業	運輸付帯	その他	連結
売上高	6,221	899	127	7,247
営業利益	613	80	12	705

売上高増減	+229	+121	+3	+353
営業利益増減	+47	+10	2	+55

## B-3. 部門別業績動向

### < コンテナ船 > 荷況堅調に推移

マイナス要因：燃料費高値推移、傭船料高騰

対策：運航費の更なる削減、サービス網の一層の合理化

**業績安定推移**

### < 不定期専用船 >

不定期船：中国を中心とした旺盛な貨物輸送需要により市況は堅調推移

自動車船：世界規模でのマーケット拡大基調に対応した更なる船隊整備と

三国間トレードにおけるサービス拡充

**業績は前期を上回る見込み**

### < エネルギー資源輸送 >

LNG：船隊は26隻に拡大。欧米向けに旺盛なLNG船需要見込む

電力炭：安定的需要予想、船隊の増強と整備による業容拡大

油槽船：中国の石油需要伸びにより運賃市況は堅調に推移

**業績安定推移**

## B-4. 04F通期連結予想ファクター別増減要因分析

(経常利益: 前期626億円 740億円、+114億円)

損益変動要因 対前期比

- 為替変動 (5.97円高) 60 億円
- バンカー変動無し - 億円
- 市況変動 +120億円
- 営業規模拡大 + 50億円
- その他 + 4 億円

---

- 合計 +114億円

< 変動要素 >

- ・円ドル為替1円安/高 単体+/- 9億円、連結+/-10億円
- ・燃料単価\$10/K.Ton安/高 単体+/-20 億円、連結+/-22 億円

# B-5. 投資計画とキャッシュフロー

	2002年度 通期実績	2003年度 通期実績	2004年度 通期計画
投資額(注)	642	538	732
船舶関連	517	426	599
その他	125	112	133
(内、単体)	45	118	42
営業キャッシュフロー	329	786	800
(減価償却費)	(295)	(256)	(245)
投資キャッシュフロー	237	518	550
フリーキャッシュフロー	92	268	250

(注) 上段の投資額は、オペレーティングリース船も含め、期中に竣工した船舶等の金額を示したものであり、下段の投資キャッシュフローの金額とは一致しない。



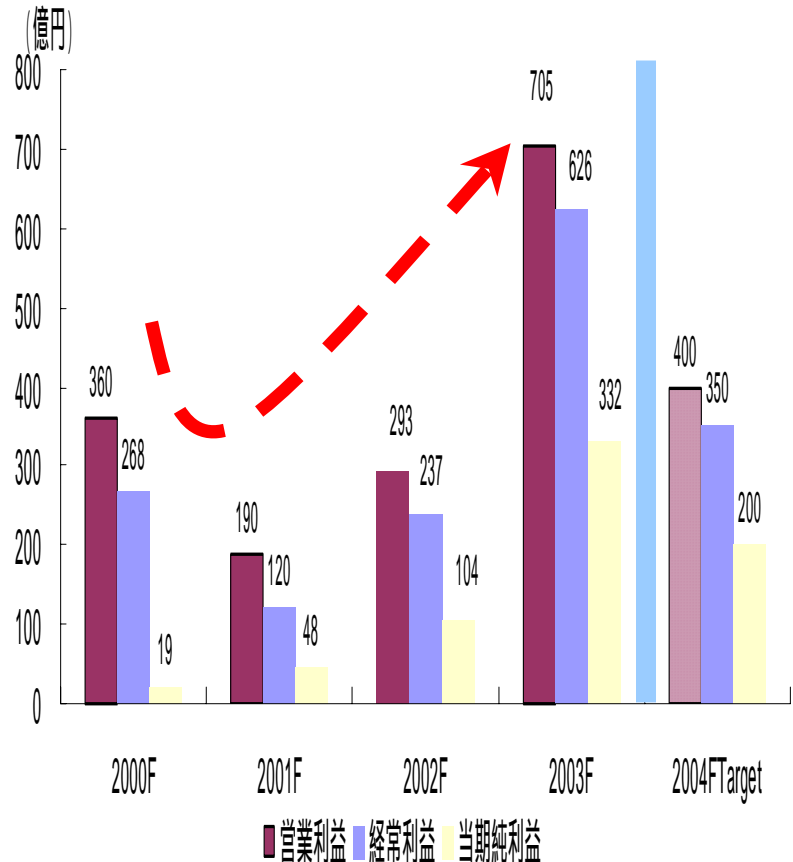
# C. KV-PLANの総括 & 新中期経営計画 概要

# C-1. KV-Plan数値目標達成度

## < P/L指標 >

(単位:億円)

		02F	03F	04F	KV-Plan
		実績	実績	数値目標	目標達成度
為替	/US\$	¥122	¥114	¥130	¥14高
バンカー	/MT	\$162	\$170	\$130	\$40高
単体	売上高	4,998	5,850	5,000	117%
	営業利益	198	551	270	204%
	経常利益	164	497	240	207%
	当期純利益	65	245	130	188%
連結	売上高	6,327	7,247	6,500	111%
	営業利益	293	705	400	176%
	経常利益	237	626	350	179%
	当期純利益	104	332	200	166%



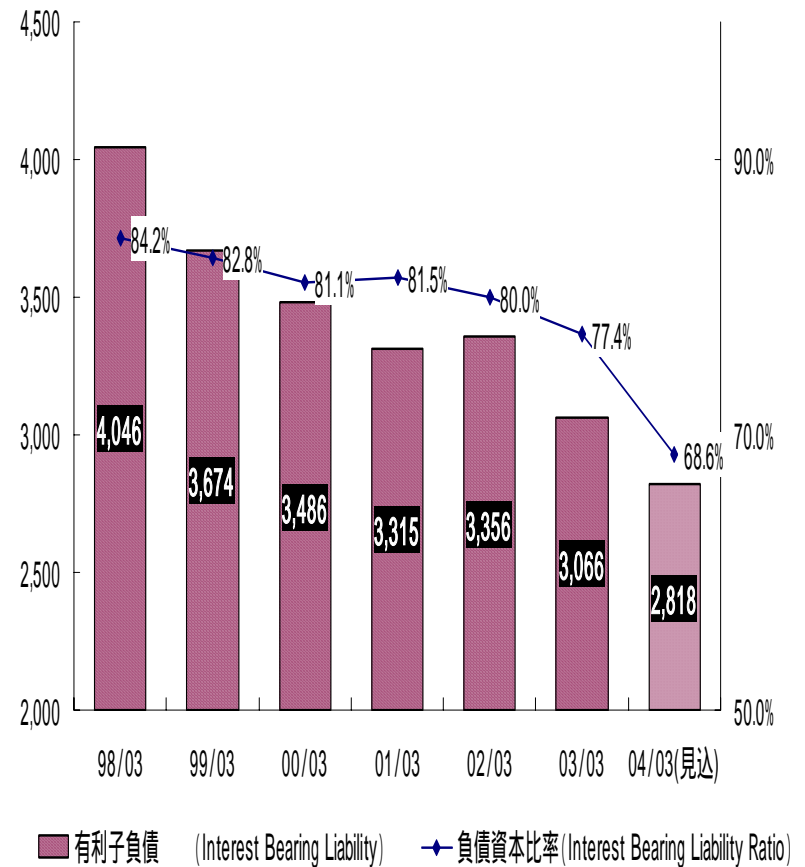
連結・単体ともKV-PLAN最終年度の目標数値を大幅に上回る

計画前提より円高、バンカー高を克服

## C-2. KV-Plan数値目標達成度(連結ベース)

	2002年度 通期実績	2003年度 通期実績	2003年度 当初計画	2004年度 当初計画
売上高	6327億円	7247億円	6300億円	6500億円
経常利益	237億円	626億円	230億円	350億円
株主資本	820億円	1210億円	950億円	1100億円
有利子負債残高	3066億円	2818億円	2950億円	2750億円
R O E	13%	32.7%	13%	19%
R O A	4.5%	11.6%	5%	7%
株主資本比率	15.9%	21.6%	19%	22%
営業CF	329億円	786億円	450億円	550億円
フリーCF	92億円	268億円	220億円	200億円
有利子負債比率	77%	69%	74%	70%

(億円) KV-Plan2年間で538億円削減



主要財務指標のうち、利益関連指標は計画を大幅に上回る

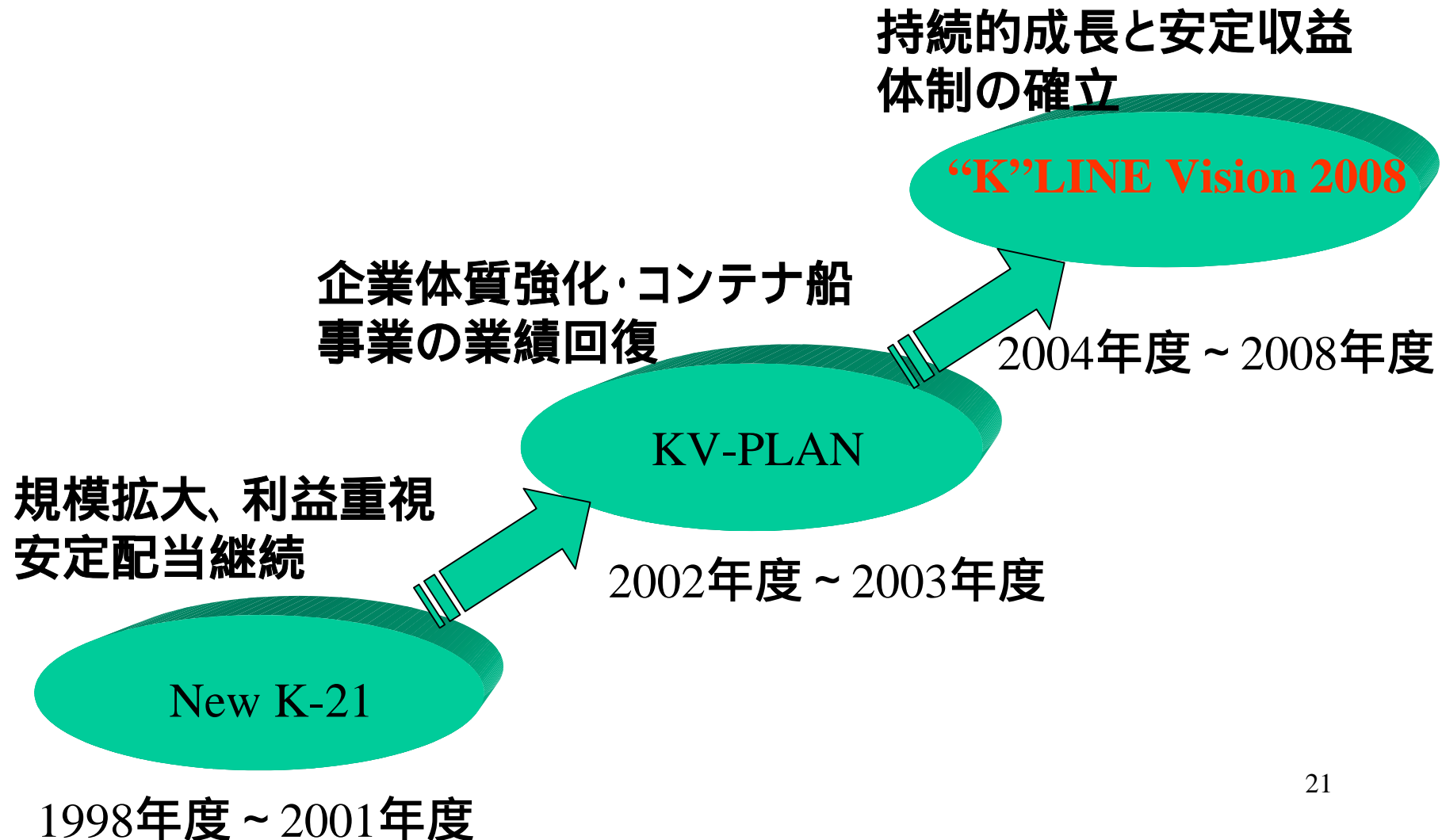
# C-3. KV-Plan 数値目標達成状況 (CS-300コスト削減運動)

(KV-PLAN3カ年目標額300億円) (単位:億円)

コストセーブ項目	2002年度	2003年度	累計
船費・傭船料削減	65	24	89
大型化に伴う合理化効果	58	10	68
貨物費削減	57	41	98
サービス改編・合理化効果	26	0	26
関係会社営業関連費用削減	10	6	16
一般管理費削減	11	5	16
機器費・空コン費削減	7	14	21
合計	234	100	334
(部門別内訳)			
コンテナ船事業部門(含む海外)	168	74	242
他事業部門(含む海外)	50	14	64
国内関係会社	16	12	28

2年間で3カ年削減目標(300億円)を上回る削減実績。

## C-4. “K”LINE Vision 2008 の位置付け



## C-5. 基本的取組み課題

1. 企業基盤の強化による安定収益体制の確立
2. 夢のあるグループ企業文化の創造と  
“K” LINEブランド価値の向上
3. コーポレート・ガバナンス体制の強化とリスク  
マネジメントの推進

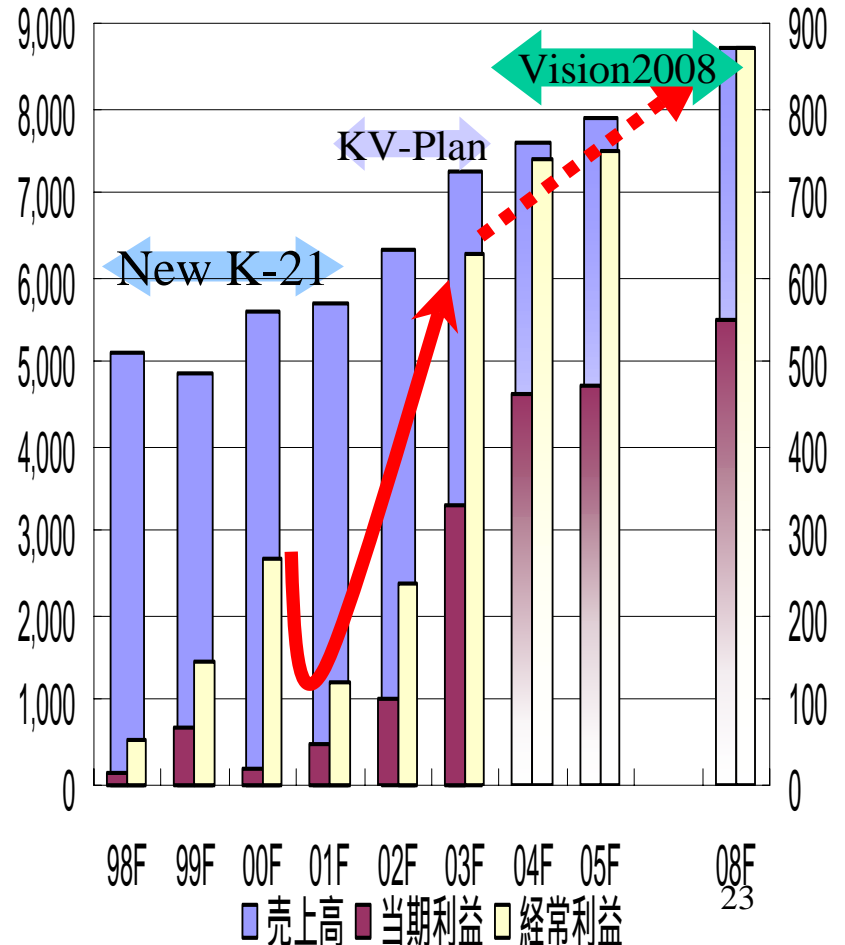
# C-6. Vision 2008 の業績目標

## 業 績 目 標

		2003年度	2004年度	2005年度	2008年度
		通期実績	計画	計画	目標
為替	/US\$	¥114	¥108	¥110	¥110
バンカー	/Mt	\$170	\$170	\$170	\$170
単体	売上高	5,850	6,000	6,250	6,800
	営業利益	551	570	580	670
	経常利益	497	560	570	680
	当期利益	245	340	350	420
連結	売上高	7,247	7,600	7,900	8,700
	営業利益	705	760	770	880
	経常利益	626	740	750	870
	当期利益	332	460	470	550

## 収 益 推 移

売上高 (単位: 億円)      当期・経常利益 (単位: 億円)



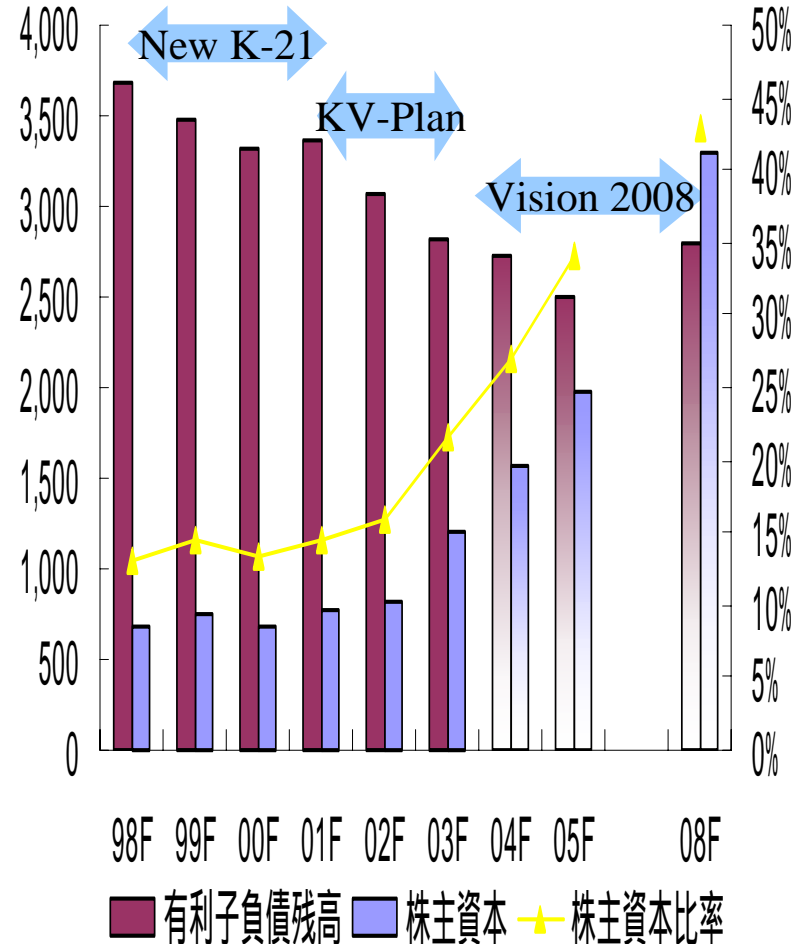
# C-7. Vision 2008の業績目標

## 主要経営指標目標値

	2003年度 通期実績	2004年度 計 画	2005年度 計 画
株 主 資 本	1210億 円	1600億 円	2000億 円
有利子負債残高	2818億 円	2600億 円	2400億 円
株主資本比率	21.6%	27%	33%
R O E	32.7%	33%	26%
R O A	11.6%	13%	13%
営 業 C F	786億円	800億円	800億円
フ リ - C F	268億円	250億円	230億円
D E R (時価ベース)	233% (88%)	162%	118%
設 備 投 資	538億円	730億円	880億円
船 隊 規 模	361隻	368隻	395隻

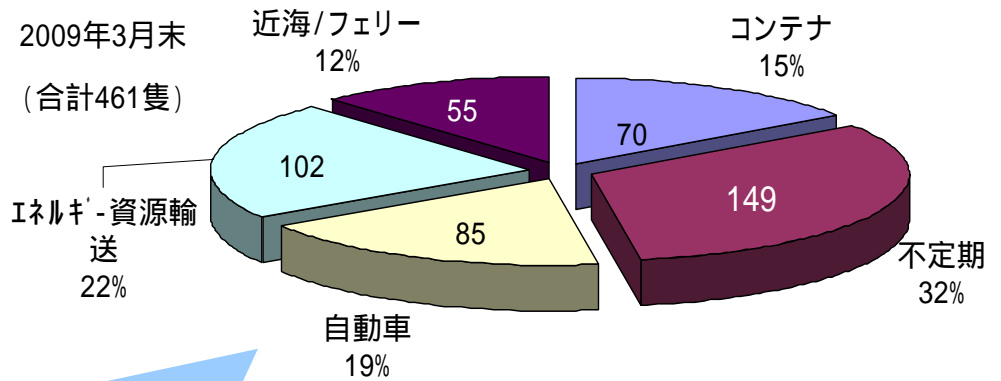
## (単位:億円) 株主資本の増強

2008年度 最終目標値
3400億円
2600億円
43%
17%
11%
820億円
100億円
77%
1350億円
461隻

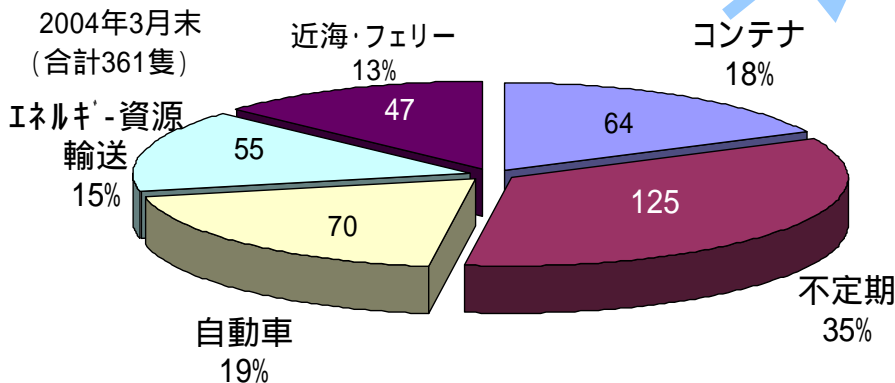




# C-8. 船隊規模推移 & 投資金額



**100隻増**



## 5カ年船舶投資金額

(総額: 7300億円うち、備船2150億円)